鹿島中学校だより　　平成29年7月18日　第8号

秀群 ほむら

鹿嶋市宮中2398番地1
TEL 82-1455　FAX 83-7768
URL：http://www. sopia. or. jp/katyu
E メール：kashima-jh@kashima. ed. jp

心から　声を聞こう　声を出そう
声をかけよう！そして笑顔を！

1学期を振り返って

校長　木滝　道章

平成29年度のスタートにあたり，生徒，保護者の皆様には，「心から声を聞こう，声を出そう，声をかけよう，そして笑顔を！」という話をしてから，早くも１学期の終業式を迎える頃となりました。

この１学期，鹿島中学校の伝統の力と生徒の活躍が大変印象に残りました。全校集会等での話を聞く姿勢，靴の踵がきちんとそろっている靴箱，生徒会役員が中心となって進められた生徒フォーラムなど，先輩から受け継がれてきた伝統の力を見ることができると共に，学校内外での爽やかなあいさつが新たな伝統として築かれていく気配を感じ取ることができました。

また，県東地区陸上競技会や県東地区総合体育大会での活躍は目を見張るものがありました。さらに，学校周辺のゴミ拾いを定期的・継続的に行っている生徒の姿を見ることもできました。５０７名の生徒一人一人のがんばりが見えた１学期だったと思います。

さて，７月２１日（金）から夏休みに入ります。１年の中で一番自由になる時間がある夏休みは，いろいろなことに挑戦して自分の力を伸ばす絶好の機会です。また，３年生にとっては進路を左右する大事な時季です。明確な目標を決め，挑戦していって欲しいと思います。有意義に過ごすか否かは，本人次第ですが，直接支援ができるのは，保護者の皆様です。是非，良きアドバイスをお願いいたします。加えて，生徒たちが，交通事故や水難事故，携帯・スマートフォンやインターネット等のトラブルに巻き込まれず，毎日安全・安心に生活できますよう，保護者の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

そして，２学期も，「心から声を聞こう，声を出そう，声をかけよう，そして笑顔を！」をスローガンに生き生きと笑顔で活動する生徒の姿がみえることを期待しています。

県大会激励会より　〈要約〉

（吹奏楽部の県東地区コンクール出場曲の演奏を終えて……）吹奏楽部の皆さんは，一つの曲を奏でるためにたくさんの人がひとつひとつの音を出していました。吹奏楽では，一人ひとりの心が一つになることが一番大事なことかと思います。部としての目標に届くために心を込めて演奏するのだという思いが誰の胸にも強くあればきっと素晴らし演奏になるでしょう。そして，目指す目標に手が届いていくと思います。是非，心を一つにして素晴らしい演奏をしてきてください。

県大会に出場する部の皆さん，皆さんは鹿島中学校の代表であるだけでなく，県東地区の代表でもあります。皆さんに敗れた中学生の思いも受け止めて，是非頑張ってください。この大会は，勝ち進めば，関東大会，全国大会へとつながります。大変暑い中ですが，吹奏楽部同様，心を一つにして粘り強く戦ってきてください。よい結果が出ることを期待しています。

生ましめんかな　―原子爆弾秘話―

栗原貞子

こわれたビルディングの地下室の夜であった。
原子爆弾の負傷者たちは
ローソク一本ない暗い地下室を
うずめていっぱいだった。
生ぐさい血の臭い、死臭、汗くさい人いきれ、うめき声。
その中から不思議な声がきこえて来た。
「赤ん坊が生まれる」というのだ。
この地獄のような地下室で今、若い女が
産気づいているのだ。
マッチ一本ない暗がりでどうしたらいいのだろう。
人々は自分の痛みを忘れて気づかった。
と、「私が産婆です。私が産ませましょう」といったのは
さっきまでうめいていた重傷者だ。
かくて暗がりの地獄の底で新しい命は生まれた。
かくてあかつきを待たず産婆は血まみれのまま死んだ。
生ましめんかな
生ましめんかな
己が命捨つとも

※詩中の地下室は旧広島貯金局の地下室

日本の夏と言えば……「甲子園」「ロックフェス」だけでなく「戦争」「原爆」でしょうか。テレビ，新聞等でも毎年「戦争」の特集が伝えられます。中学生も無関心ではいられません。どうぞ，今の「平和」についても考えてみてください。

保護者の皆様へ

子供が勉強嫌いになる理由は「大人に押しつけられる」「わからない」の２つ。そして，「わからない」の理由のひとつに「国語力不足」が上げられるそうです。その国語力（語彙力）は生まれてから今までの日常生活の影響が大きく，ある調査では，小学１年段階で，多い子では7000語，少ない子では2000語程度だったのが，小学６年では，多い子は37000語，少ない子では8000語と差がどんどん開いてしまうとのこと。8000語の子が中学の授業について行くのは困難で，教科書を読むスピードも8000語の子は37000語の子供の５倍かかるとのことです。この夏，家族を上げて読書や新聞読みの習慣づくりに取り組まれてはいかがでしょうか。〈参考：藤野雄太「勉強しなさいと言わずに成績が上がる！すごい学習メソッド」より〉